
バカとツルギと召喚獣

エタニティ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカとツルギと召喚獣

【Nコード】

N3788P

【作者名】

エタニティ

【あらすじ】

急遽、文月学園へと一人の少女が転入してきた。

少女の名は『御剣^{みつるぎ} 神那^{かなな}』豊満な体としな

やかな藍色の髪に美しい顔、誰もが彼女に見惚れている中、彼女は一人の少年へ視線を向け…… 「久しいな……ア

ツちゃん／＼／＼」 「っ！ もしかして……カナちゃん!？」

彼女が見つめる先には彼…… 『吉井 明久』が驚愕の表情に染まり、また教室には戦慄が流れた

プロローグ 01

私の名は『美剣^{みつるぎ} 神那^{かなな}』

戦国時代から続く由緒正しき『御剣流剣舞』の次期後継者

突然だが、私には長き間……想いを寄せる者がいる

その者は初めて出会った時から私に笑顔を振りまき、私の道を明るく照らしてくれていた

幼き頃……元々、家柄の問題で同世代は勿論、その周りの人々は私に少し引け目な態度を取っており、その雰囲気嫌である日家を飛び出し、人前では一度も見せなかった涙を流しながら公園の片隅でしゃがんでいた私に……その者は

「なんで泣いてるの？ どこか痛いのか？」

その者の目は、私がこれまで見てきた人々よりも一層光を放ち、どこか不拔けた表情はその頃の私にはとても美しく思えた

私はその者の声を聞いた途端、頭の中がまっ真っ白になり少しの間声をあげて泣き叫んだ

その後、出会った者と互いに名乗り、その者は私を『カナちゃん』と呼び、私もまたその者を『アツちゃん』と呼んで3年間ほど共に

遊んだ事をよく覚えている

しかしある日、突然引越す事となってしまった私は彼と離れ離れになってしまった……

とても寂しかった……

しかしそんな気持ちも明日で終わり……

8年の時を果て、私は彼が通っているとされた『文月学園』へと転入することとなった

ああ……ついに彼と再開できると思うと居てもたってもいられない

早く……早く

早く合いたい……

私の惚れている少年……

『吉井^{よし}
明久^{あきひさ}』
に……

主人公設定

名前…御剣^{みつるぎ} 神那^{かなな} 1

性別…女

年齢…16歳

身長…172.6 cm

体重…58.6 kg

スリーサイズ…B／87 cm W56 cm H84 cm

趣味…剣道、料理

好きなもの…吉井明久>>>超えられない壁>剣道、お茶、甘物
嫌いなもの…吉井明久に害なすもの（例外なし）、G（黒光りして
リビングに良く現れる高速移動するアレ）

本作の主人公。ある日突然、文月学園に転入してきた少女。かつて
幼い頃に吉井明久と親しくなり、現在では恋愛対象として明久を好
いている。

しかし今まで恋愛なんてしたこともなく、そういった事に知識がな
くどうしていいか分からないらしい。実家は由緒正しい『御剣流剣
舞』の跡取り。

料理が上手く、ルックスも女優顔負け、まさに『大和撫子』の名に
相応しい美少女であるが自覚はない。

藍色の髪は腰まで届くボニーテールと凛々しく美しい顔立ちが特徴。スタイルも良く、性格も凛々しく、男性だけでなく女性からも人気がある。常に持ち歩く初代から受け継がれてきた170cmもの名刀『斬破刀 迅雷桜村正』は鋼をも切り裂く

じんらいおう

自分の身長が高いことを若干気にしている。

学力はAクラスを遥かに凌ぐ実力を持つ。得意科目は国語、歴史（特に日本史）、数学。苦手な科目無し

剣道七段

全てに置いて完璧に見える彼女だが、彼女にも苦手なものがあり、性的な事となると恥ずかしさを爆発させ辺り一面を斬り裂く。という極度の恥ずかしがり屋。それ故にスカートを余り履かず、ズボンもしくは足元しか見えないロングスカートを履いている（しかも中身は黒のスパッツ）

イメージキャラクター…Muv-Luvの御剣 冥夜そっくり

CV…桑島 法子（CLANNAD…坂上智代の声、CLAYMO
RE…クレアの声）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3788p/>

バカとツルギと召喚獣

2010年12月8日20時18分発行